

# さくらさくら

令和7年6月吉日発行

第32号

社会福祉法人桜友会  
児童心理療育施設 桜学館  
〒501-3932 岐阜県関市稻口 777 番地1  
Tel 0575-24-0050 Fax 0575-24-0051



## ごあいさつ

桜学館施設長 児玉 俊郎

今年は桜の花を長く見ることができ、とても心地よいスタートを切ることができました。私は、施設長として6年目を迎えることになり、5年の実践の振り返りをもとに新たな課題に向かう年となりました。

今年は、桜学館の定員を34名に落とし、子どもたちの生活集団の基準を6名としました。4月は小学生9名、中学生12名・高校生2名・一時保護1名のスタートです。特徴は、女子の入所定員12名に対して11名が在籍しており、女子の受け入れが困難であることと、一時保護専用ユニットを併設しているところです。職員は、退職者3名で、生活支援職員4名の仲間が加わりました。新人職員はなかなか子どもとの関係を作りきれない中で必死に子どもたちとのかかわりを持っています（子どもたちに助けられながら）。ただし、心理職が足りなくて困っています。ご協力ください。

子どもたちは、いつもの光景でサッカー・野球・卓球・バレー・Coza工房・ミステリー・園芸・羊クラブなど職員が得意とする分野に参加しながら時間の過ごし方を工夫しています。しかしながら、なかなか感情をコントロールできなくて、自分と向き合うことに苦労しています。職員も自分の感情をコントロールしながら一つ一つの出来事を子どもたちと振り返っています。職員も子どもも自分の育ちを振り返り今の自分があるということを理解することはとても難しいとはわかっていても、ここにいる子どもたちと関わりを持つということはこの作業をしなければなりません。

今年の新たな取り組みは、「食育」をどのように生活の中に組み入れていこうかと考えております。生活とは「そこに衣・食・住」があります。桜学館に関しては、「食」において子どもたちと買い物をしたり、食事を作ったりすることがほとんどありません。時々行う自由献立の時は子どもたちがとても笑顔であり、いっぱいご飯を食べます。今年は子どもたちと食材の買い物から食事作りまで一緒に取り組むことを増やしていくことを思っています。職員の中には、食事作りが苦手な職員もいると思いますが、『挑戦』です。

＜これからの課題＞

笑顔が一番！ ☺ 笑顔が生まれる安心を！

※子どもたちの笑顔を見るために、大人のネットワークづくり。（福祉と教育と医療）

※子どもたちに寄り添えるための力を職員とともに学び続けます。（アセスメント力）

※子どもたちに関わっていただける仲間を募集しております。（文化活動・学習支援など）

- 1.子ども一人ひとりにしっかりと向き合い、ひとりひとりの自己実現に向かって共に支援を行います。
- 2.子ども一人ひとりの成長・発達を願い、子ども一人ひとりに相応しい環境設定を行います。
- 3.子ども一人ひとりの命を大切にし、子ども一人ひとりの家庭復帰を目指した地域支援を行います。
- 4.子ども一人ひとりの思いに耳を傾け、子ども一人ひとりを主体者として支援を行います。

【各ユニットより】

## 光ユニット

光ユニットは、中高生メンバーでスタート！  
4月は、光ユニット主催でおもてなし会を行いました。自分たちでチョコバナナ・フランクフルトを調理して、新人職員さんや他ユニットの子どもたちにふるまいました。大盛況

今年のユニットのテーマは、『自立』です。  
既に地域で活動している高校生、今年受験に臨む中3生。自分でできることをひとつずつ増やしていく、内面も成長していくよう、一緒に生活で取り組んでいきたいです！



空ユニットは  
小学生2人、中学生2人  
の4人で新年度を  
スタートしました！  
毎日身体をたくさん動  
かして、元気いっぱいに  
活動しています！

## 空ユニット





やってみたいにとも、  
苦手なことも、何事にも  
挑戦していきたいです！  
出来るようになったことが  
たくさん増えて、  
大きく成長できる  
1年にしていきます！

## 風ユニット

元気いっぱいの風ユニットの子どもたち♪

今年の風ユニットは温かい雰囲気を大切にして、子どもも大人も自分自身への願いを忘れずに過ごしていきます！

季節を感じる行事を楽しみつつ、それぞれのゴールに向かって進む1年になりそうです♪

## 星ユニット

エネルギーたっぷりの星ユニット！

今年は仲良く、譲り合って、ルールを守ることを目標にした子ども達。

どんな一年になるのか  
成長が楽しみです♪



# 虹ユニット

小学生から高校生までの幅広い年齢の子ども達が元気に生活しています！

職員と一緒に  
パンナコッタ作り！  
とてもおいしくて  
皆で完食！！

職員と一緒に  
みんなで初詣

今年度の虹は小学生1人、中学生2人、高校生1人。1人が退所し4人で生活しています。

職員も新人職員が1人増え、みんなで元気よく過ごしています！

4月には新人職員歓迎会としてBBQを行いました。火おこしをしてくれる子、肉焼きが得意な子、お皿や箸、コップを配り、席決めをする子、ひたすらお肉を食べる子と、とても個性豊かでとても賑やかなユニット行事となりました！

また、月1でお菓子作りをしており、5月はパンナコッタを作りました！

今年はどんな1年になるのか、どのように成長していくのか楽しみです！

令和7年度4月より 一時保護専用棟 大地ユニットが発足しました。

一時保護が必要なお子さんのケアに尽力いたします。

## レク委員会



夏には桜学館のみんなで夏祭り、  
冬は城南高校の生徒さんにケーキを作っても  
うい、  
勇久亀神（ゆうきゅうきしん）アバイザーに  
ヒーローショーを見せてもらうなど、楽しいク  
リスマス会を行いました！  
今年度も夏と冬、それぞれ楽しい催しを考て  
います！  
お楽しみに♪



# 桜学館分級のあゆみ

## 分級桜の会～小中交流会～

4月30日（水）の3・4時間目に『分級桜の会』～小中交流会～を行いました。今年度、小・中合同で行う行事には、今回の「小中交流会」「体育祭」「文化祭」などがあります。それぞれの行事が、点ではなく線となった活動となるように、『分級桜の会』を行事名の前につけることとした。

前半は、学級ごとに学級目標や1年間大切にしたいことなどの発表と、委員会ごとに前期の目標を発表し、後半は、縦割りで組んだチームで力を合わせてレクリエーションを行いました。

### 小学生

レインボー1組（小2～4年生）は、「1年後になりたい自分」を想像し、みんなの前で願いを語りました。また、学級目標『しあわせをみんなに』の持つ意味と意気込みも発表しました。

レインボー2組（小5・6年生）は、学級目標の『めざせ！考学燃！！』の「考」「学」「燃」それぞれの文字に込められた深い思いと小学校のリーダーとしてどういう自分になったらよいかを発表しました。

新たな気持ちで分級での生活を頑張ろうとする前向きな気持ちが伝わる会となりました。

レクリエーションでは、小中学生合同4チームを作り、中学生が考え抜いたゲームの数々を共に楽しんでいました。最後には楽しかった時間をくれた中学生にお礼を伝えました。



レインボー1組の発表の様子



レクリエーションを楽しむ様子

### 中学生



中学3年生の発表の様子



レクリエーションの様子

各学級が学級目標について、これからの中1年で頑張っていくことを発表しました。1年生の学級目標「NEW SMILE ☺」～個性・雰囲気・繋がり～授業や行事を通して、新しい笑顔をたくさんみせていきたい。2年生「百折不撓」～we can do it～1人1人が挑戦することを大切にしていきたい。3年生「分級のリーダーになる！」～仲良く最善を尽くす～最高学年として見本を示すことで、分級を引っ張って、3月には胸を張って卒業したいというそれぞれの学年の願いを込められた学級目標を宣言する会になりました。

レクリエーションでは、4つの縦割り班に分かれて、中学生を中心に小中全員が楽しめるようなレクリエーションを3つ考えました。みんなが笑顔で楽しむためにはどのようなレクリエーションをしたらよいのかということを考え、授業や休み時間に集まって準備をすることができました。当日は、中学生として年下の子どもたちに優しく声をかける姿が多く見られ、笑顔がたくさんみられた小中交流会となりました。

## 新人職員紹介

今年度4月より、4名の職員が加わりました。  
どうぞよろしくお願ひします。



山田明日翔

子どもたちと一緒に『小さな  
幸せを見つけること』を大切  
にします。



藤井美弥

笑顔を大切に、子どもと一緒に  
成長していきます



渡邊麗那

子どもたちと楽しむときは一緒に  
楽しんで、オンオフをしっかり切り  
替えられる職員になりたいです。



高木臣嘉

子どもと同じ目線で生活を共  
にし、一緒になって成長して  
いきたいです。

## 子ども家庭支援センター「とも」より

いつもご支援いただきありがとうございます。今回は、4月1日  
に「とも」の里親支援部門より独立した新しい施設、



里親支援センター **ともらす**

TOMORASU

を紹介します。

「ともらす」は、これまで「とも」で里親支援を切り盛りしていたセンター長をはじめ5名と新しく入職した3名の8人体制です。独立してセンター化してからは新しい事業も増え、軌道に乗るまでもう少し時間がかかるとのことです。これまで以上に互いに連携しながらともによい支援を子どもたちに届けたいと思います。



里親サロンで  
作った作品です。



関市のコミュニ  
ティバスです。



## 寄付、ボランティアのお礼



○樋昌宗様・アシストホールディングス 長谷部様…キッチンカーにてソースカツ丼の提供

○樋昌宗様・ヤマト物産株式会社 龜山様…自家農園にて、苗植え体験

○圓通寺(いちょう庵)様…カップ麺、お菓子の寄贈及び、キッチンカーにてたこやきの提供

○昭和企画(メイトー)様…チョコレート多数 ○ドミニーピザ様…ピザ弁当 ○餃子の王将様…お子様弁当

○中日新聞社会事業団・日本特殊陶業様…ステンレスボトル多数

○篠原欣子財団様…お菓子購入費用及び自転車5台

○小酒井様…自家農園にて、イチゴ収穫体験や多くの野菜の寄贈



## 編集後記



桜学館の多くの子たちのブームはサッカー。Yリーグが終った後もその熱は冷めず。下校後、すぐにボールを追いかけており、元気いっぱいです。サッカーをしていない子も外で遊んだり、館内で遊んだりと、こちらも元気いっぱいです。



他の桜学館での日常をインスタグラムにて公開しております。ここでは、紹介しきれない活動もありますので、ぜひご覧になり、いいね ❤️ ・フォローしてください。また、採用・施設見学に関する情報も掲載しておりますので、桜学館に入職の関心をもっている方が近くにおられましたら、是非紹介いただけたらと思います。

広報紙「さくらさくら」へのご意見、ご感想をお寄せください。

(E-Mail: [sakura@hohoemi.or.jp](mailto:sakura@hohoemi.or.jp)) 広報委員 川治・清水・岡田